

札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

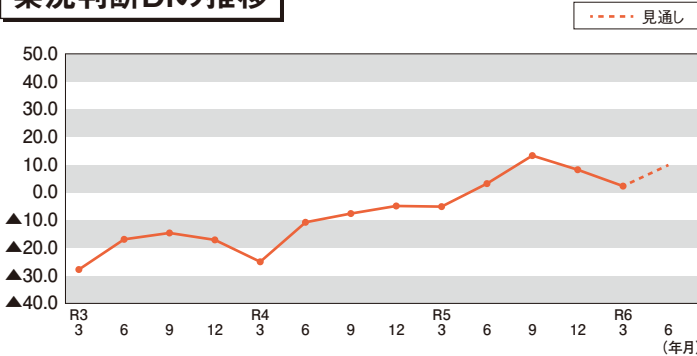
調査の概要

- 調査時期：令和6年3月1日～7日
 - 調査対象：札幌圏(札幌、石狩、空知) 後志圏(後志、渡島)
 - 対象企業数：当金庫のお取引先340社
回答数340社(札幌圏235社・後志圏105社) 回答率100%
 - 分析方法：DIを中心とした分析。
DI=「良い・増加・上昇した先の割合」-「悪い・減少・下降した先の割合」
DI>0→良い・増加・上昇 DI<0→悪い・減少・下降
 - その他：「中小企業における人材戦略について」
- ※DI(景気動向指数)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

全業種総合

札幌圏・後志圏

業況判断DIの推移



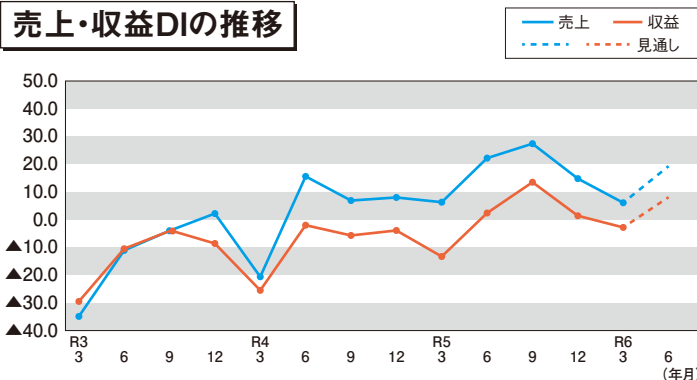
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は2.3と前期から5.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.6ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



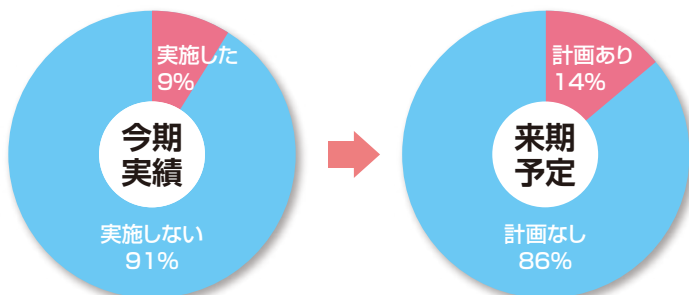
○売上DI～低下↓

- ・今期は6.1と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.2ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲2.8と前期から4.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.9ポイント上昇する見通し。

設備投資動向

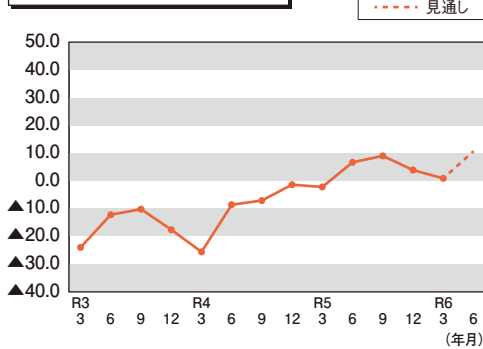


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
原材料高	27.4	31.5
同業者間の競争の激化	24.4	—
売上の停滞・減少	22.1	26.8

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	52.6	60.9
人材を確保する	35.0	31.8
販路を広げる	30.6	28.8

札幌圏

業況判断DIの推移



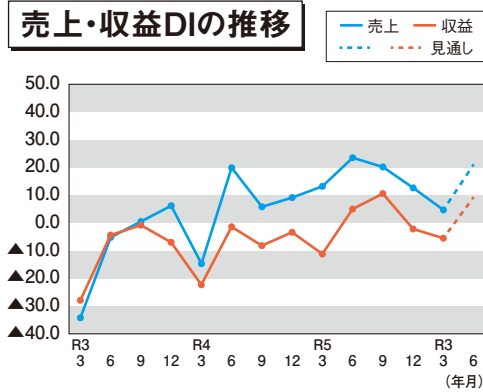
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は0.9と前期から3.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.8ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



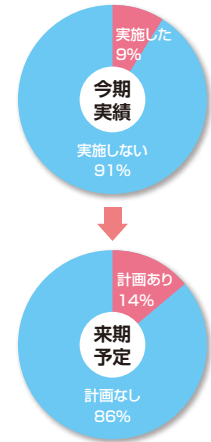
○売上DI～低下↓

- ・今期は5.1と前期から7.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.9ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲6.0と前期から3.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.1ポイント上昇する見通し。

設備投資動向



(%)

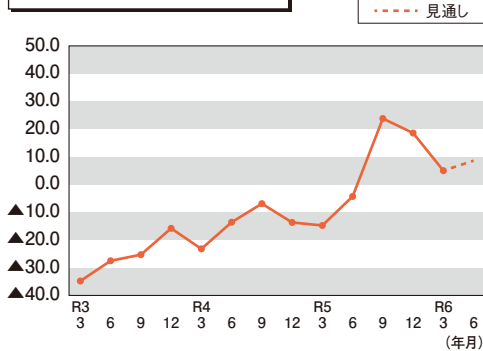
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
原材料高	28.9	29.4
同業者間の競争激化	26.8	21.7
売上の停滞・減少	22.1	27.2

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	48.9	59.1
人材を確保する	36.2	27.7
販路を広げる	31.9	29.8

後志圏

業況判断DIの推移



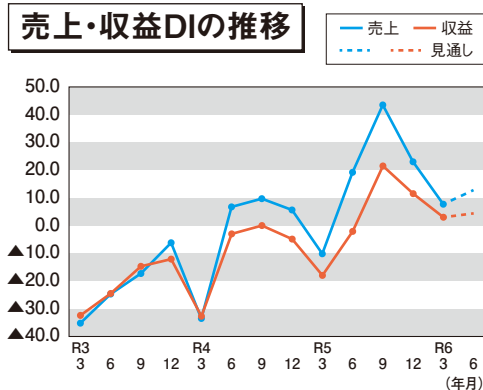
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は5.0と前期から13.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.6ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



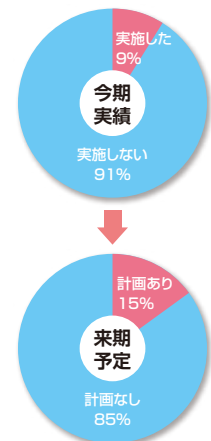
○売上DI～低下↓

- ・今期は7.7と前期から15.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.1ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は3.0と前期から8.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から1.4ポイント上昇する見通し。

設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
利幅の縮小	24.8	29.5
原材料高	23.8	36.2
売上の停滞・減少	21.9	25.7

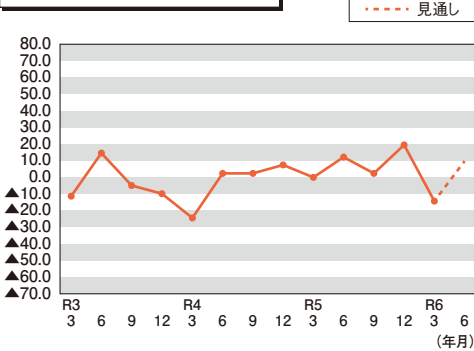
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	61.0	64.8
人材を確保する	32.4	41.0
販路を広げる	27.6	26.7

製造業

札幌圏 (調査数41社・回答数41社・回答率100%)

業況判断DIの推移



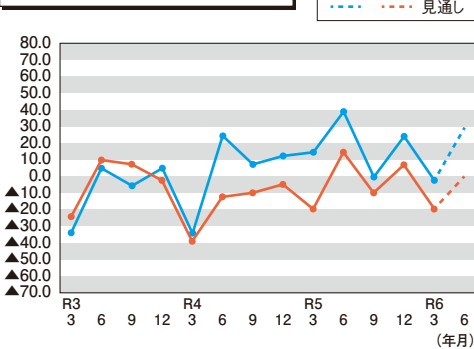
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲14.6と前期から34.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から24.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲2.4と前期から26.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から31.7ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲19.5と前期から26.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から19.5ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・製粉

物価高による消費低迷の影響を受け、売上も停滞している。固定費の見直しや在庫の適正化に努め、収益確保を目指す。

・金属加工

原材料の値上げはあるが価格転嫁できていない。鋼材の値上がりから受注は減少しているが、単価上昇により売上は変わらない。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	61.0
売上の停滞・減少	36.6
人手不足	29.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	58.5
販路を広げる	46.3
人材を確保する	34.1

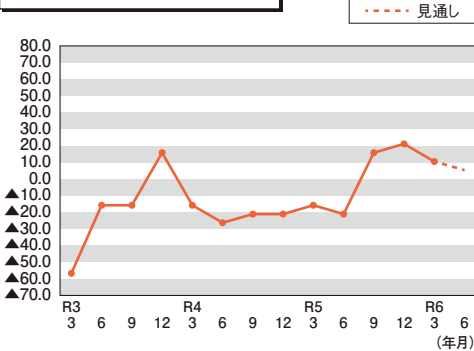
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	12.2
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	26.8

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数19社・回答数19社・回答率100%)

業況判断DIの推移



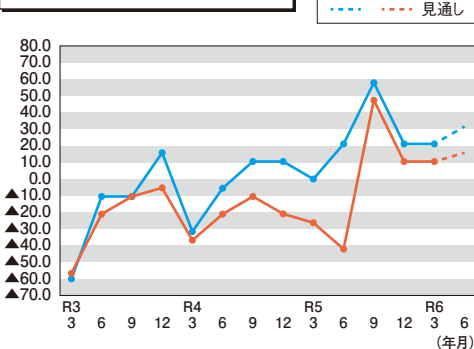
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は10.5と前期から10.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.2ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～横ばい→

- ・今期は21.1と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から10.5ポイント上昇する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は10.5と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から5.3ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・塩たろこ加工

同業者との価格競争もあり、販売価格の転嫁が思うようにできない。

・紙器

仕入価格の上昇から値上げを実施しており、業況に大きな変化はない。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	73.7
人手不足	31.6
利幅の縮小	26.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	73.7
販路を広げる	42.1
人材を確保する	21.1

設備投資動向(%)

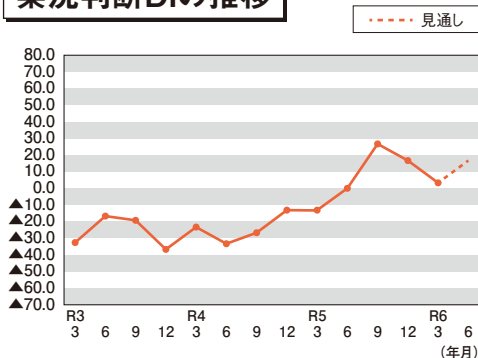
今期設備投資を実施した	21.1
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.8

(不動産、機械、事務機器、車両等)

卸売業

札幌圏 (調査数30社・回答数30社・回答率100%)

業況判断DIの推移



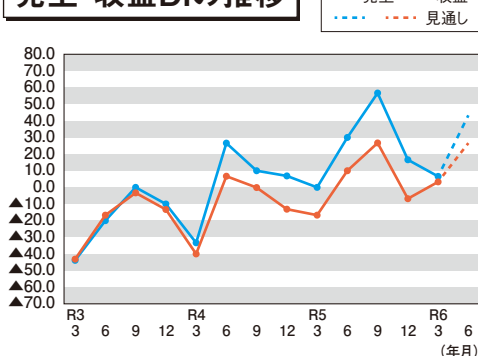
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は3.3と前期から13.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は6.7と前期から10.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から36.6ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は3.3と前期から10.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から23.4ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・飲料・乾物

大手スーパー等の価格競争により販路拡大が困難である。仕入価格の高騰を販売価格へ転嫁できておらず収益は悪化。

・配管資材

原材料の高騰により仕入価格は上昇しているが、販売価格に転嫁できている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	30.0
同業者間の競争激化	30.0
仕入先からの値上げ要請	30.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	63.3
経費を節減する	50.0
人材を確保する	30.0

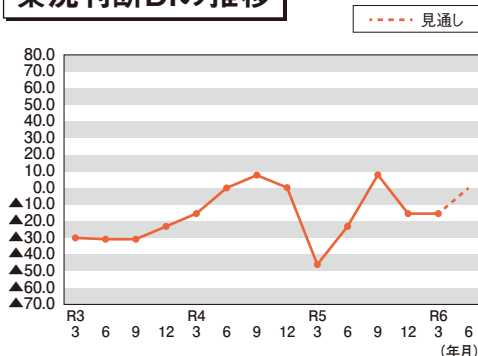
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	10.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数13社・回答数13社・回答率100%)

業況判断DIの推移



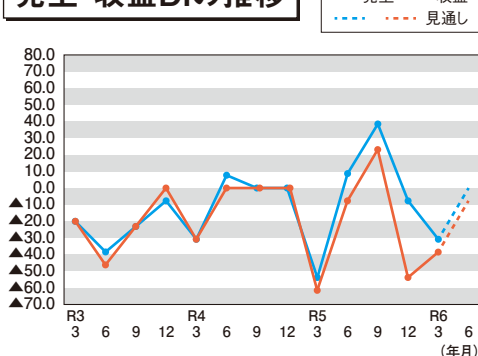
コメント



○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は▲15.4と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から15.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲30.8と前期から23.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から30.8ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は▲38.5と前期から15.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から30.8ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・事務機器・用品

顧客が大手通販から事務用品を調達することが増えている。価格では対抗が難しくアフターサービス等にて差別化を図っている。

・包装資材

水産物等の輸出が減少し、発泡スチロール製品の売上が減少している。輸出再開までは農産物向け等の新たな販路を開拓中。

経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	38.5
同業者間の競争激化	38.5
利幅の縮小	23.1

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	76.9
販路を広げる	61.5
情報力を強化する	30.8

設備投資動向(%)

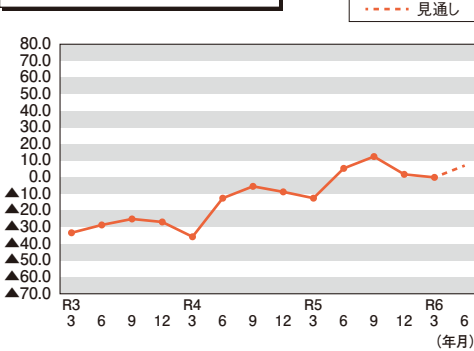
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

小売業

札幌圏 (調査数56社・回答数56社・回答率100%)

業況判断DIの推移



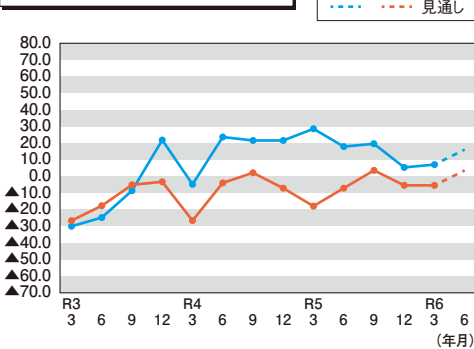
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から1.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.1ポイント上昇する見直し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は7.1と前期から1.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から9.0ポイント上昇する見直し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は▲5.4と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から9.0ポイント上昇する見直し。

企業のコメント

- ・自動車部品
一定の人材は確保しているが、高齢化がすすんでおり若手人材確保と教育が必要である。
- ・燃料
燃料の価格変動による利益率の低下や競合の激化、価格競争の厳しさ等の問題がある。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	33.9
同業者間の競争激化	30.4
人手不足	28.6

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.7
人材を確保する	26.8
品揃えを改善する	25.0

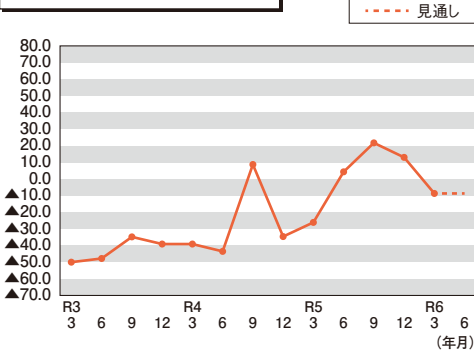
設備投資動向 (%)

今期設備投資を実施した	7.1
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



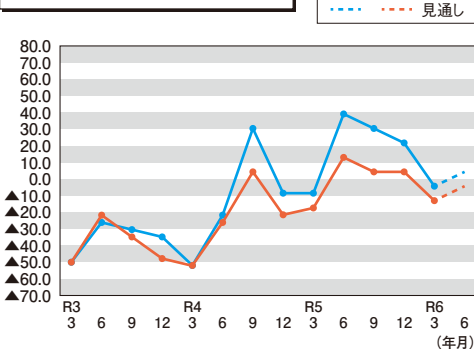
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲8.7と前期から21.7ポイント低下した。
- ・来期は▲8.7と横ばいの見直し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲4.3と前期から26.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.6ポイント上昇する見直し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲13.0と前期から17.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.7ポイント上昇する見直し。

企業のコメント

- ・調剤薬局
前年並みの売上、収益を確保しているが、人口減少と近隣町村の大手ドラッグストアの進出により、大幅な売上増加は期待できない。
- ・鮮魚・水産加工
大雪など悪天候により来店客が少なく、売上も減少。商品の販売状況を分析し、売れ筋商品の仕入れに注力する。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	39.1
商圏人口の減少	34.8
利幅の縮小	30.4

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.9
売れ筋商品を取扱う	34.8
人材を確保する	26.1

設備投資動向 (%)

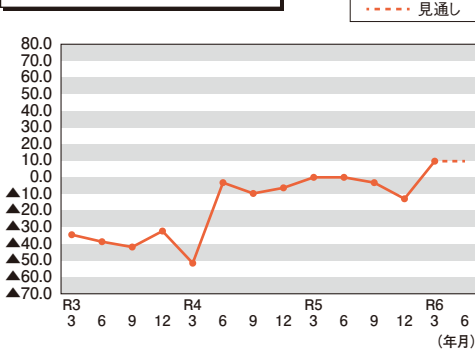
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

サービス業

札幌圏 (調査数31社・回答数31社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は9.7と前期から22.6ポイント上昇した。
- ・来期は9.7ポイントと横ばいの見通し。

企業のコメント

・運送

2024年問題は現状対応できているが、ドライバーの高齢化により今後も対応できるかわからない。

・ホテル

外国人観光客の増加で売上、収益が増加している。付加価値を提供することで1人あたりの単価を上昇させる取組みをしている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	38.7
材料価格の上昇	35.5
人件費の増加	22.6

当面の重点施策(複数回答)(%)

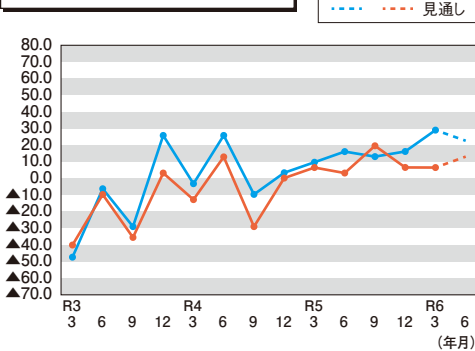
経費を節減する	41.9
販路を広げる	41.9
人材を確保する	38.7

設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	16.1
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	22.6

(不動産、機械、事務機器、車両等)

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

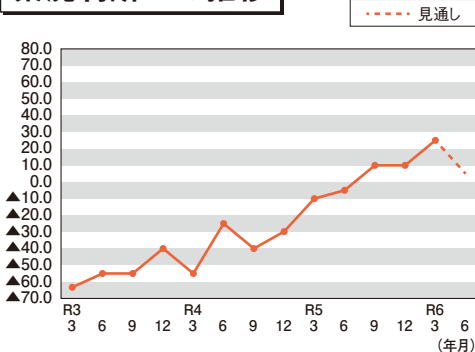
- ・今期は29.0と前期から12.9ポイント上昇した。
- ・来期は今期から6.4ポイント低下する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は6.5と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から6.4ポイント上昇する見通し。

後志圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は25.0と前期から15.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から20.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・宿泊・仕出し・宴会

新幹線工事関係者の宿泊が依然好調で、常時満室の状態。各種宴会はコロナ以前まで回復しており、今後の業況は順調に推移する見通し。

・貸切バス

ドライバーの高齢化が進んでおり、数年後には人手不足となる。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	50.0
材料価格の上昇	45.0
商圏人口の減少	35.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

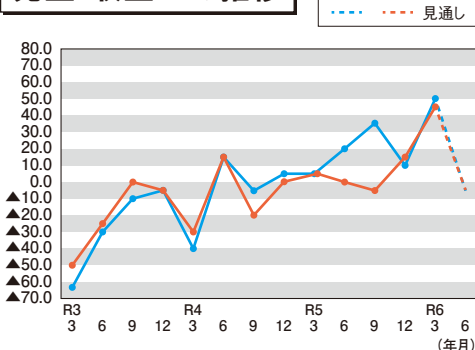
経費を節減する	60.0
人材を確保する	40.0
販路を広げる	35.0

設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	10.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は50.0と前期から40.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から55.0ポイント低下する見通し。

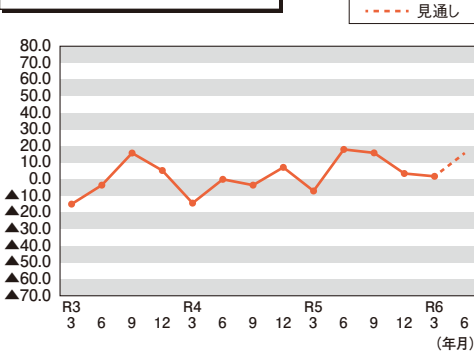
○収益DI～上昇↑

- ・今期は45.0と前期から30.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から50.0ポイント低下する見通し。

建設業

札幌圏 (調査数57社・回答数57社・回答率100%)

業況判断DIの推移



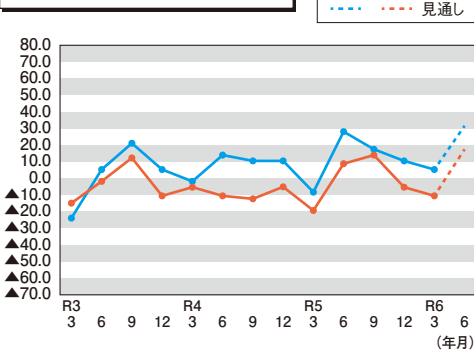
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は1.8と前期から1.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.0ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は5.3と前期から5.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から26.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲10.5と前期から5.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から28.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・住宅建築

従業員の高齢化や業界離れがあり、適正な人員確保ができない。人材派遣会社等外部企業の活用などで改善していきたい。

・電気工事

業況は順調に推移しているが、残業時間の上限規制に伴い人手が不足することが予想される。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	59.6
材料価格の上昇	56.1
同業者間の競争激化	21.1

当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	61.4
経費を節減する	42.1
販路を広げる	29.8

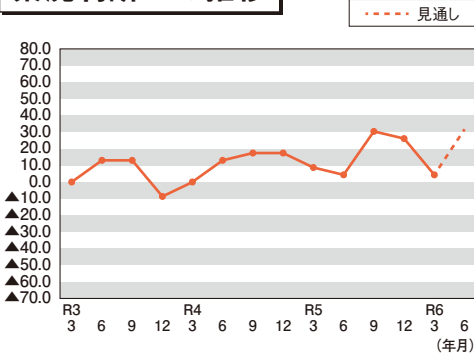
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	5.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.8

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



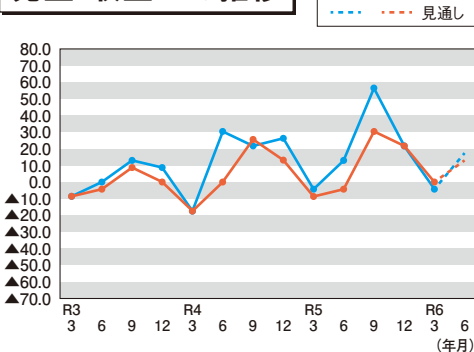
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は4.3と前期から21.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲4.3と前期から26.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から21.7ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から21.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・とび・大工工事

高規格道路、新幹線工事により受注は増加している。外注費の削減が課題。

・木造建築

インバウンド効果により注文は相次いでいるが、従業員の高齢化や人手不足により、受注ロスが発生している。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	65.2
材料価格の上昇	56.5
下請の確保難	21.7

当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	60.9
経費を節減する	56.5
技術力を高める	47.8

設備投資動向(%)

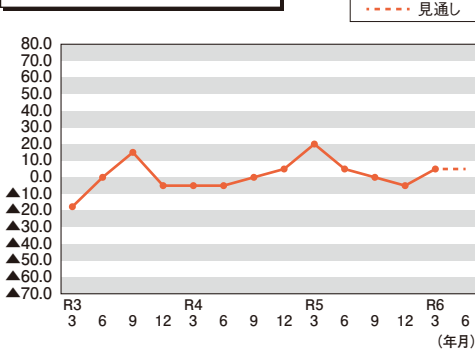
今期設備投資を実施した	13.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	26.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

不動産業

札幌圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は5.0と前期から10.0ポイント上昇した。
- ・来期は5.0ポイントと横ばいの見通し。

企業のコメント

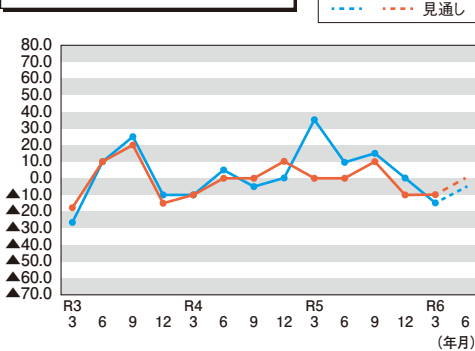
・仲介・販売

同業者間の競争が激しく、物件確保が困難な状況。

・建売

仕入価格の高騰により販売価格も値上げせざるを得ない状況。そのため販売状況は悪化している。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲15.0と前期から15.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は▲10.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

経営上の問題点(複数回答)(%)

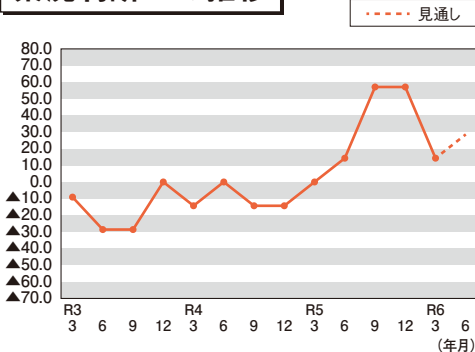
同業者間の競争激化	40.0
商品物件の高騰	35.0
売上の停滞・減少	25.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

宣伝・広告を強化する	55.0
情報力を強化する	35.0
販路を広げる	35.0

後志圏 (調査数7社・回答数7社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は14.3と前期から42.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

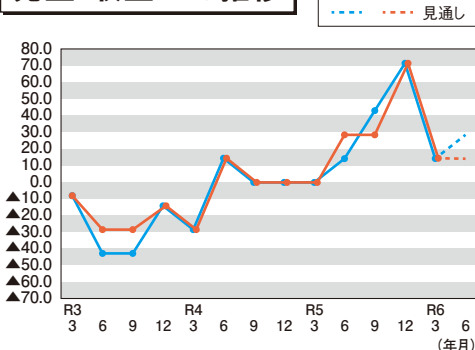
・賃貸

新幹線工事関係者への賃貸物件として、アパートを建設するなど町内の不動産需要は増加している。

・一般住宅・土地売買

中古住宅の売買や、春先に向けて賃貸物件の動きは堅調な推移となっているが、今後どの程度継続していくか不透明。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は14.3と前期から57.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は14.3と前期から57.1ポイント低下した。
- ・来期は14.3ポイントと横ばいの見通し。

経営上の問題点(複数回答)(%)

同業者間の競争激化	42.9
人手不足	28.6
利幅の縮小	28.6

当面の重点施策(複数回答)(%)

宣伝・広告を強化する	71.4
情報力を強化する	57.1
販路を広げる	42.9

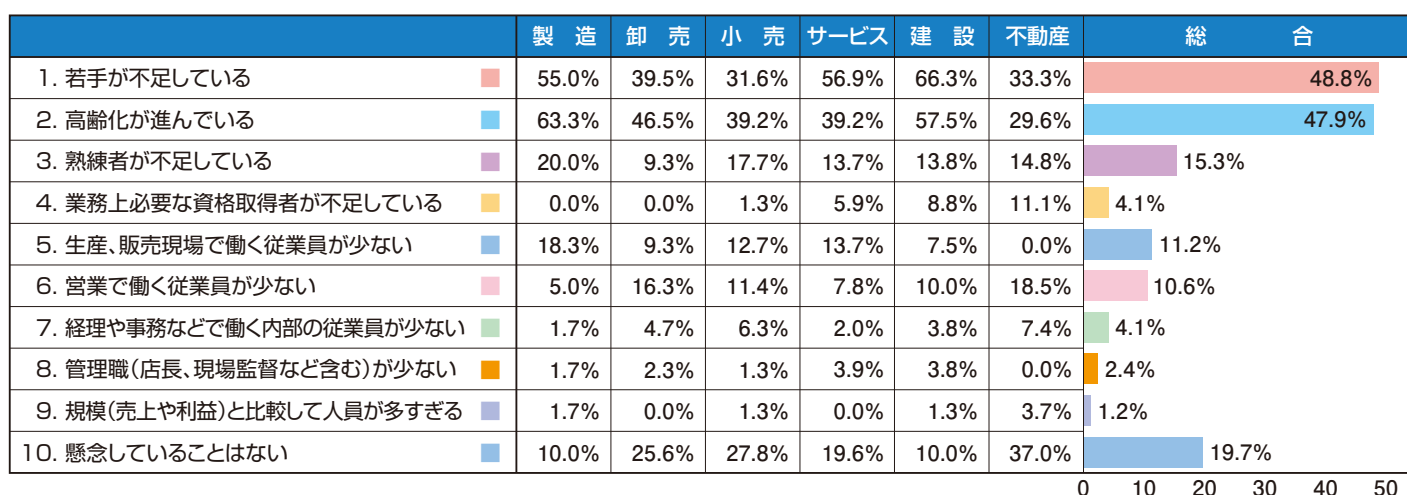
特別調査

「中小企業における人材戦略について」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

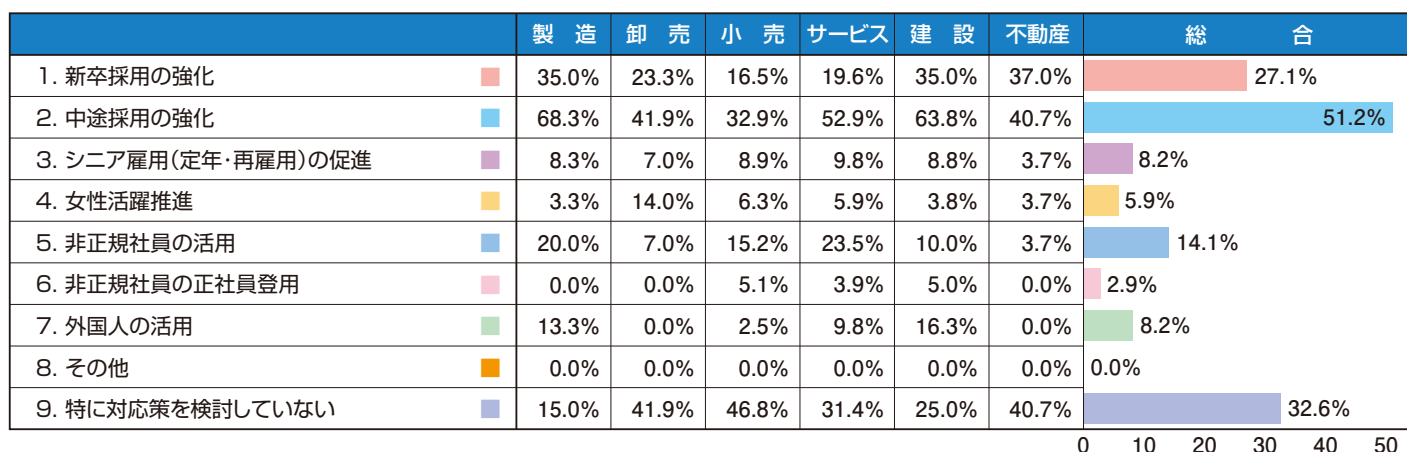
問1

貴社では現在の人材の状況について、懸念していることはありますか。(3つまで選択)



問2

今後の貴社の人材に対する対応策について、お答えください。(3つまで選択)



問3

貴社では人材育成において、職場内での実地訓練(OJT)以外の取組みを実施していますか。(3つまで選択)

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)	36.7%	27.9%	24.1%	23.5%	22.5%	40.7%	27.6%
2. 社内研修会や勉強会の実施(勤務時間外)	6.7%	0.0%	6.3%	2.0%	1.3%	3.7%	3.5%
3. 資格取得等、自己啓発費用の会社負担	11.7%	9.3%	1.3%	7.8%	31.3%	22.2%	13.8%
4. 担当業務の定期的な異動	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.9%
5. eラーニングの導入	0.0%	0.0%	1.3%	2.0%	0.0%	0.0%	0.6%
6. 業界団体の研修に参加	21.7%	14.0%	8.9%	13.7%	13.8%	18.5%	14.4%
7. 外部セミナーへの参加	11.7%	2.3%	6.3%	7.8%	8.8%	14.8%	8.2%
8. 外部講師の派遣依頼	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.6%
9. 外部出向制度の導入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.3%
10. 実施していない	43.3%	67.4%	67.1%	62.7%	51.3%	44.4%	56.8%

0 10 20 30 40 50 60

問4

貴社では人材定着などに向けて、2024年中に賃金の引上げ(定期昇給分除く)を実施しますか。賃金引上げ率、引上げない理由についてお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
引上げ							
1. 0%以上2%未満	36.6%	20.9%	23.9%	21.6%	23.5%	22.3%	25.4%
2. 2%以上4%未満	11.7%	18.6%	7.6%	13.7%	17.5%	7.4%	12.9%
3. 4%以上6%未満	6.7%	4.7%	2.5%	2.0%	2.5%	0.0%	3.2%
4. 6%以上	0.0%	7.0%	1.3%	3.9%	3.8%	7.4%	3.2%
引上げない							
5. 賃上げに見合う価格転嫁ができていない	16.7%	25.6%	24.1%	17.6%	18.8%	14.8%	20.0%
6. 同業や同地域内の他社が上げていない	0.0%	2.3%	1.3%	11.8%	2.5%	7.4%	3.5%
7. 今後の業績見通しが不透明	15.0%	11.6%	10.1%	11.8%	16.3%	0.0%	12.1%
8. 売上の低迷や伸び悩み	8.3%	2.3%	3.8%	7.8%	6.3%	3.7%	5.6%
9. これまでに賃金を引上げ済み	1.7%	0.0%	5.1%	3.9%	2.5%	7.4%	3.2%
10. 自社に従業員はいない(家族経営など)	3.3%	7.0%	20.3%	5.9%	6.3%	29.6%	10.9%

0 10 20 30 40 50

問5

2024年4月から建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります(2024年問題)。これに伴い、貴社では業務への影響が出ると見込まれますか。また、何らかの対応策を取りましたか。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
影響							
1. 大きく悪影響がある	1.7%	7.0%	3.8%	5.9%	10.0%	3.7%	5.6%
2. やや悪影響がある	33.3%	23.3%	17.7%	21.6%	44.9%	25.9%	28.8%
3. 影響はない・わからない	63.3%	69.7%	76.0%	70.5%	41.3%	66.7%	63.2%
4. やや好影響がある	1.7%	0.0%	2.5%	2.0%	3.8%	3.7%	2.4%
5. 大きく好影響がある	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
対応							
6. 対応を取った	8.3%	9.3%	1.3%	3.9%	18.8%	0.0%	7.9%
7. 必要性は感じているが対応していない	41.7%	37.2%	31.6%	43.1%	61.2%	33.3%	43.0%
8. 対応を取る必要はない	50.0%	53.5%	67.1%	53.0%	20.0%	66.7%	49.1%

0 10 20 30 40 50 60